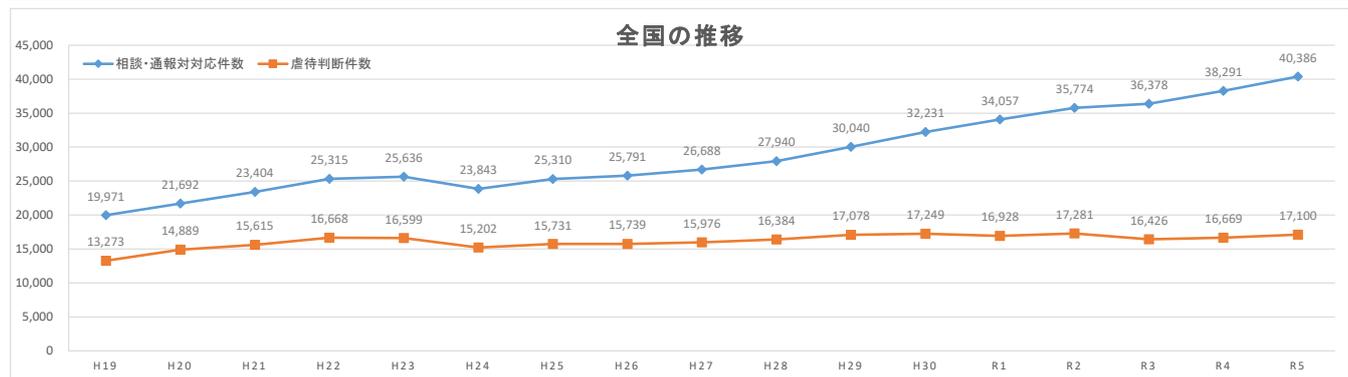
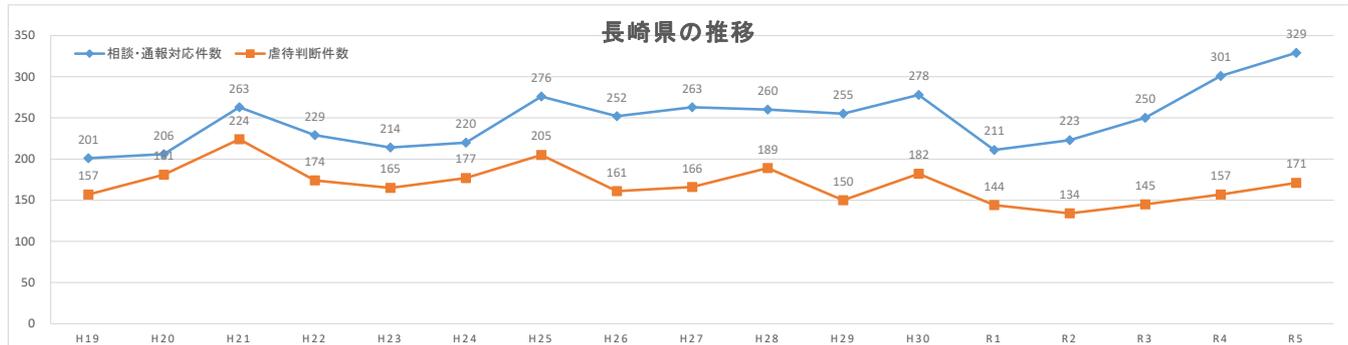


II 養護者(家族、親族、同居人等)による高齢者虐待

	令和5年度		令和4年度		増減	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1 相談・通報対応件数	長崎県	329 件	301 件		28 件	
	全国	40,386 件	38,291 件		2,095 件	
2 虐待判断件数	長崎県	171 件	157 件		14 件	
	全国	17,100 件	16,669 件		431 件	
3 被虐待者数	長崎県	175 人	163 人		12 人	
	全国	17,455 人	17,091 人		364 人	

・相談・通報対応件数は前年度より28件、虐待判断件数は14件、被虐待者数は12名増加している。



	長崎県				全国				
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
4 相談・通報者 (複数回答)	計	348 人		317 人		42,850 人		40,678 人	
	介護支援専門員	102 人	29.3 %	117 人	36.9 %	10,607 人	24.8 %	10,187 人	25.0 %
	介護保険事業所職員	20 人	5.7 %	20 人	6.3 %	2,512 人	5.9 %	2,203 人	5.4 %
	医療機関従事者	34 人	9.8 %	21 人	6.6 %	1,767 人	4.1 %	1,665 人	4.1 %
	近隣住民・知人	10 人	2.9 %	9 人	2.8 %	1,252 人	2.9 %	1,239 人	3.0 %
	民生委員	9 人	2.6 %	8 人	2.5 %	593 人	1.4 %	589 人	1.4 %
	被虐待者本人	10 人	2.9 %	9 人	2.8 %	2,327 人	5.4 %	2,275 人	5.6 %
	家族・親族	34 人	9.8 %	34 人	10.7 %	3,209 人	7.5 %	3,035 人	7.5 %
	虐待者自身	5 人	1.4 %	6 人	1.9 %	621 人	1.4 %	602 人	1.5 %
	当該市町村職員	16 人	4.6 %	20 人	6.3 %	2,165 人	5.1 %	2,137 人	5.3 %
	警察	82 人	23.6 %	52 人	16.4 %	14,682 人	34.3 %	13,834 人	34.0 %
	その他	24 人	6.9 %	21 人	6.6 %	3,064 人	7.2 %	2,846 人	7.0 %
	不明(匿名を含む)	2 人	0.6 %	- 人	- %	51 人	0.1 %	66 人	0.2 %

・「介護支援専門員」からの相談・通報割合が最も多く、次いで「警察」の割合が高い。

5 虐待の内容	長崎県				全国				
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
(1) 虐待の種別 (複数回答)	計	264 人		236 人		24,274 人		23,802 人	
※構成割合は被虐待者の実人数に対して算出		175 人 (実人数)		163 人 (実人数)		17,455 人 (実人数)		17,091 人 (実人数)	
	身体的虐待	117 人	66.9 %	107 人	65.6 %	11,362 人	65.1 %	11,167 人	65.3 %
	介護・世話の放棄、放任	41 人	23.4 %	24 人	14.7 %	3,393 人	19.4 %	3,370 人	19.7 %
	心理的虐待	71 人	40.6 %	72 人	44.2 %	6,680 人	38.3 %	6,660 人	39.0 %
	性的虐待	- 人	- %	2 人	1.2 %	66 人	0.4 %	65 人	0.4 %
	経済的虐待	35 人	20.0 %	31 人	19.0 %	2,773 人	15.9 %	2,540 人	14.9 %

・「身体的虐待」が最も多く、次いで「心理的虐待」が多い。

	長崎県				全国				
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
(2) 虐待の程度	計	98人		79人		12,611人		12,180人	
1) 軽度		44人	44.9%	32人	40.5%	5,053人	40.1%	4,728人	38.8%
2) 中度		37人	37.8%	33人	41.8%	4,748人	37.6%	4,598人	37.8%
3) 重度		12人	12.2%	10人	12.7%	2,025人	16.1%	2,101人	17.2%
4) 最重度		5人	5.1%	4人	5.1%	785人	6.2%	753人	6.2%

※令和3年度からは上記の4段階へ変更となっている。また、深刻程度を判断していないケースもあるため被虐待者数とは合致しません。

(3) 虐待による被虐待者の死亡	- 人	- 人	27 人	32 人
-------------------------	-----	-----	------	------

6 被虐待者の状況									
(1) 性別	計	175人	100.0%	163人	100.0%	17,455人	100.0%	17,091人	100.0%
男		52人	29.7%	29人	17.8%	4,266人	24.4%	4,141人	24.2%
女		123人	70.3%	134人	82.2%	13,189人	75.6%	12,950人	75.8%
不明		- 人	- %	- 人	- %	- 人	-	- 人	- %

・被虐待者の性別割合は女性が高くなっている。

(2) 年齢	計	175人	100.0%	163人	100.0%	17,455人	100.0%	17,091人	100.0%
65～69歳		9人	5.1%	12人	7.4%	1,072人	6.1%	1,121人	6.6%
70～74歳		21人	12.0%	23人	14.1%	2,243人	12.9%	2,448人	14.3%
75～79歳		27人	15.4%	33人	20.2%	3,357人	19.2%	3,239人	19.0%
80～84歳		55人	31.4%	33人	20.2%	4,478人	25.7%	4,332人	25.3%
85～89歳		28人	16.0%	43人	26.4%	3,783人	21.7%	3,546人	20.7%
90歳以上		35人	20.0%	19人	11.7%	2,511人	14.4%	2,386人	14.0%
不明		- 人	- %	- 人	- %	11人	0.1%	19人	0.1%

・80歳以上の方が被虐待者となる割合が高くなっている。

(3) 要介護認定の状況	計	175人		163人		17,455人		17,091人	
未申請		34人	19.4%	42人	25.8%	4,021人	23.0%	4,327人	25.3%
申請中		1人	0.6%	8人	4.9%	615人	3.5%	613人	3.6%
認定済み		135人	77.1%	110人	67.5%	12,538人	71.8%	11,835人	69.2%
(内訳)	要支援1	8人	5.9%	4人	3.6%	820人	6.5%	722人	6.1%
	要支援2	12人	8.9%	13人	11.8%	976人	7.8%	940人	7.9%
	要介護1	39人	28.9%	41人	37.3%	3,166人	25.3%	3,073人	26.0%
	要介護2	28人	20.7%	23人	20.9%	2,705人	21.6%	2,534人	21.4%
	要介護3	23人	17.0%	16人	14.5%	2,312人	18.4%	2,194人	18.5%
	要介護4	17人	12.6%	11人	10.0%	1,623人	12.9%	1,486人	12.6%
	要介護5	8人	5.9%	2人	1.8%	913人	7.3%	841人	7.1%
	不明	- 人	- %	- 人	- %	23人	0.2%	45人	0.4%
認定非該当(自立)		5人	2.9%	1人	0.6%	263人	1.5%	304人	1.8%
不明		- 人	- %	2人	1.2%	18人	0.1%	12人	0.1%

・「要介護1」の方が被虐待者となる割合が最も高く、次いで「要介護2」の方の割合が高い。

(4) 認定済者の認知症日常生活自立度	計	135人	100.0%	110人	100.0%	12,538人	100.0%	11,835人	100.0%
自立又は認知症なし		7人	5.2%	8人	7.3%	1,009人	8.0%	937人	7.9%
自立度I		28人	20.7%	21人	19.1%	2,060人	16.4%	1,957人	16.5%
自立度II		47人	34.8%	44人	40.0%	4,602人	36.7%	4,289人	36.2%
自立度III		32人	23.7%	20人	18.2%	3,064人	24.4%	2,965人	25.1%
自立度IV		9人	6.7%	4人	3.6%	896人	7.1%	803人	6.8%
自立度M		2人	1.5%	3人	2.7%	202人	1.6%	201人	1.7%
認知症あるが自立度不明		6人	4.4%	8人	7.3%	467人	3.7%	438人	3.7%
認知症の有無が不明		4人	3.0%	2人	1.8%	238人	1.9%	245人	2.1%

・「自立度II」の方が被虐待者となる割合が最も高くなっている。

	長崎県				全国				
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
(5) 介護保険サービスの利用	計	135 人	100.0 %	110 人	100.0 %	12,538 人	100.0 %	11,835 人	100.0 %
受けている		107 人	79.3 %	88 人	80.0 %	10,307 人	82.2 %	9,664 人	81.7 %
過去に受けていたが、判断時点では受けていない		6 人	4.4 %	6 人	5.5 %	503 人	4.0 %	488 人	4.1 %
過去も含めて受けていない		22 人	16.3 %	16 人	14.5 %	1,656 人	13.2 %	1,609 人	13.6 %
不明		- 人	- %	- 人	- %	72 人	0.6 %	74 人	0.6 %

・被虐待者のうち、介護保険サービスを「受けている」の割合が最も高い。

(6) 虐待者との同居・別居	計	175 人	100.0 %	163 人	100.0 %	17,455 人	100.0 %	17,091 人	100.0 %
虐待者とのみ同居		94 人	53.7 %	90 人	55.2 %	9,270 人	53.1 %	9,020 人	52.8 %
虐待者及び家族と同居		54 人	30.9 %	50 人	30.7 %	5,748 人	32.9 %	5,814 人	34.0 %
虐待者と別居		24 人	13.7 %	21 人	12.9 %	2,229 人	12.8 %	2,091 人	12.2 %
その他		1 人	0.6 %	2 人	1.2 %	194 人	1.1 %	159 人	0.9 %
不明		2 人	1.1 %	- 人	- %	14 人	0.1 %	7 人	0.0 %

・「虐待者とのみ同居」している割合が最も高く、次いで、「虐待者及び家族と同居」の割合が高い。

(7) 家族形態	計	175 人	100.0 %	163 人	100.0 %	17,455 人	100.0 %	17,091 人	100.0 %
単独世帯		13 人	7.4 %	15 人	9.2 %	1,405 人	8.0 %	1,272 人	7.4 %
夫婦のみの世帯		43 人	24.6 %	44 人	27.0 %	4,219 人	24.2 %	4,108 人	24.0 %
未婚の子と同居		48 人	27.4 %	40 人	24.5 %	5,777 人	33.1 %	5,798 人	33.9 %
配偶者と離別・死別等した子と同居		20 人	11.4 %	19 人	11.7 %	1,938 人	11.1 %	1,853 人	10.8 %
子夫婦と同居		16 人	9.1 %	10 人	6.1 %	1,677 人	9.6 %	1,735 人	10.2 %
その他親族と同居 (子と同居せず、子以外の親族と同居している場合)		34 人	19.4 %	35 人	21.5 %	2,392 人	13.7 %	2,301 人	13.5 %
不明		1 人	0.6 %	- 人	- %	47 人	0.3 %	24 人	0.1 %

・家族形態は、「未婚の子と同居」の割合が最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が高い。

※『未婚の子』は配偶者がいたことのない子を指す。

7 虐待者の状況									
(1) 被虐待者との続柄 (延べ人数)	計	180 人		173 人		18,335 人		17,909 人	
夫		38 人	21.1 %	41 人	23.7 %	4,178 人	22.8 %	4,070 人	22.7 %
妻		17 人	9.4 %	9 人	5.2 %	1,386 人	7.6 %	1,177 人	6.6 %
息子		58 人	32.2 %	64 人	37.0 %	7,100 人	38.7 %	6,982 人	39.0 %
娘		36 人	20.0 %	28 人	16.2 %	3,459 人	18.9 %	3,465 人	19.3 %
息子の配偶者(嫁)		5 人	2.8 %	5 人	2.9 %	414 人	2.3 %	461 人	2.6 %
娘の配偶者(婿)		2 人	1.1 %	1 人	0.6 %	192 人	1.0 %	177 人	1.0 %
兄弟姉妹		6 人	3.3 %	10 人	5.8 %	411 人	2.2 %	385 人	2.1 %
孫		11 人	6.1 %	9 人	5.2 %	489 人	2.7 %	498 人	2.8 %
その他		7 人	3.9 %	5 人	2.9 %	700 人	3.8 %	684 人	3.8 %
不明		- 人	- %	1 人	0.6 %	6 人	0.0 %	10 人	0.1 %

・「息子」が虐待者となる割合が最も高く、次いで「夫」の割合が高い。

(2) 年齢 (延べ人数)	計	180 人		173 人		18,335 人		17,909 人	
40歳未満		15 人	8.3 %	16 人	9.2 %	1,048 人	5.7 %	1,168 人	6.5 %
40～49歳		27 人	15.0 %	22 人	12.7 %	2,455 人	13.4 %	2,587 人	14.4 %
50～59歳		32 人	17.8 %	35 人	20.2 %	4,979 人	27.2 %	4,827 人	27.0 %
60～64歳		15 人	8.3 %	20 人	11.6 %	1,768 人	9.6 %	1,701 人	9.5 %
65～69歳		16 人	8.9 %	11 人	6.4 %	1,197 人	6.5 %	1,193 人	6.7 %
70～74歳		14 人	7.8 %	20 人	11.6 %	1,443 人	7.9 %	1,450 人	8.1 %
75～79歳		8 人	4.4 %	14 人	8.1 %	1,567 人	8.5 %	1,444 人	8.1 %
80～84歳		27 人	15.0 %	18 人	10.4 %	1,708 人	9.3 %	1,500 人	8.4 %
85～89歳		11 人	6.1 %	10 人	5.8 %	945 人	5.2 %	914 人	5.1 %
90歳以上		2 人	1.1 %	2 人	1.2 %	277 人	1.5 %	259 人	1.4 %
不明		13 人	7.2 %	5 人	2.9 %	948 人	5.2 %	866 人	4.8 %

・虐待者の年齢は「50～59歳」の割合が高くなっている。

	長崎県				全国				
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
8 対応（複数回答）	計	290 人		265 人		24,156 人		23,918 人	
被虐待者の保護として虐待者からの分離を行った事例 （内訳）	被虐待者の保護として虐待者からの分離を行った事例	50 人	17.2 %	48 人	18.1 %	4,837 人	20.0 %	4,801 人	20.1 %
	介護保険サービスの利用	17 人	34.0 %	19 人	39.6 %	1,629 人	33.7 %	1,637 人	34.1 %
	老人福祉法に基づく措置	6 人	12.0 %	- 人	- %	751 人	15.5 %	761 人	15.9 %
	緊急一時保護	2 人	4.0 %	3 人	6.3 %	529 人	10.9 %	469 人	9.8 %
	医療機関等への一時入院	13 人	26.0 %	13 人	27.1 %	806 人	16.7 %	836 人	17.4 %
	住まい・施設等の利用	5 人	10.0 %	9 人	18.8 %	646 人	13.4 %	619 人	12.9 %
	虐待者の転居等	5 人	10.0 %	1 人	2.1 %	257 人	5.3 %	261 人	5.4 %
	その他	2 人	4.0 %	3 人	6.3 %	219 人	4.5 %	218 人	4.5 %
被虐待者と虐待者を分離していない事例	123 人	42.4 %	112 人	42.3 %	12,659 人	52.4 %	12,649 人	52.9 %	
対応について検討・調整中の事例	1 人	0.3 %	3 人	1.1 %	412 人	1.7 %	434 人	1.8 %	
虐待判断時点で既に分離状態の事例	46 人	15.9 %	42 人	15.8 %	3,764 人	15.6 %	3,424 人	14.3 %	
その他	70 人	24.1 %	60 人	22.6 %	2,484 人	10.3 %	2,610 人	10.9 %	

・「被虐待者と虐待者を分離していない事例」の割合が最も多い。分離を行った事例では、「介護保険サービスの利用」の割合が高くなっている。